

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成23年度第3回生涯学習センター運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567(757-8481)		
開催日時	平成24年2月23日(木)午前10時~11時30分		
開催場所	生涯学習センター 講義室1		
出席者	委員	大塚啓子、大音裕子、常行貞臣、石津容子、松浦孝治、安藤真弓、 山本朗、西谷久範、渡瀬順之  (欠席)堀田啓子	
	その他	教育長、教育振興部長	
	事務局	宮脇克己、喜田由加里、藤原育子、海野恵子	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	開会、挨拶 議題 (1) 今後の生涯学習センターについて (2) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

# 審 議 経 過

## 1. 教育長挨拶

事務局

少し早いですが始めさせていただきたいと思います。このあいだ2月18日の修了式では、みなさんご出席いただきありがとうございます。

早速ですが23年度3回目の運営委員会を開催させていただきます。皆様方には、何かとご多忙のところ急きょお集まりいただきありがとうございます。今日は、堀田委員が所要によりご欠席と聞いておりますので、よろしく願います。

それでは最初に教育長からごあいさつさせていただきます。

教育長

改めまして、おはようございます。本日はなにかとお忙しい中、また足元の悪い中、ご参集いただきましてありがとうございます。

今回お集まりいただきましたのは、ちょうど昨日から川西市も24年度予算を審議する市議会が始まっております。その中で、実は、公共施設の再配置の計画を出しており、のちほど議題のところの説明いたしますが、生涯学習センターの計画をそこに入れておりますので、急きょ皆様にお集まりいただきました。本来なら、もう少し早くお話しすべきだったのですが、新聞報道が先になり、大変申し訳ありません。のちほどゆっくり説明させていただきます。

また、さきほど所長からお話しのとおり、先週土曜日はレフネックの修了式に皆さんご参加いただきまして本当にありがとうございました。また、一昨日は、りんどう学園高齢者大学の修了式もさせていただきました。本当に川西のみなさん高齢者、生涯学習という面で活発に活動され、また、知識、技術、経験等、豊富な方がたくさんいらっしゃるんだなぁと、改めて感じしております。そういった方々の活動の場所を今後いかに設定するか、そういったことも大きなテーマと思っております。

また、学校現場におきましても、インフルエンザが二、三週間前までは猛威を振るっていました。今も、小学校5校ぐらい、幼稚園1園で学級閉鎖をしております。それと、もうひとつ、流行性といいますが、感染症的な胃腸炎もずいぶんと流行しているということです。学校幼稚園現場には、先生方も含めて、手洗い・うがいを励行するよう伝えているところでございますが、どこかで感染した子どもたちが学校で感染させていく、なかなか収まらないという状況です。とはいえ、学校現場は3学期、それぞれの学年で仕上げの学期であり、小学校6年生、中学校3年生については、卒業も間近です。我々としたしましては、子どもたちそれぞれが、いい思い出をもって、卒業していただきたいなというところです。学校現場の先生方ともどもに、子ども達のために頑張っていきたいなと。中学3年生の子ども達にとっては、ある面では節目の年でもあります。そういったことで、子ども達の進路指導が十分できるように学校の現場には伝えております。本当に、今後とも地域の皆さんと共に、家庭の皆様と共に、子ども達の成長を見守っていくといいますが、一緒に子ども達を成長させていくという気持ちで頑張っております。

以上、ただらららとご挨拶となりますが、今日は宜しく願います。

## 2. 議題

(1) 今後の生涯学習センターについて(資料)

事務局	引き続き委員長に議事進行を宜しくお願いいたします。
委員長	<p>皆様おはようございます。今日は今年最後の委員会ということでございまして、昨夜来から雨が降りまして今日はちょっと気温が高いですが、これが春の雨であればよろしいのですが、まだなかなか、そうといかないようで、また寒い日が来るかと思えます。今日は早くから皆様お集まりいただきましてありがとうございます。今日はこの生涯学習センター、これの移転問題のお話がテーマとなりますので、みなさん、じっくりとおはなしの方、またご意見の方を。では、よろしく申し上げます。</p> <p>では、さっそく議事のほうに入らせていただきまして、今後の生涯学習センターについて、事務局からご説明がございまして、よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>お手元に、お配りしています A3 サイズの資料ですが、これは、24 年度の「予算のあらまし」という冊子の中の 20 ページ、21 ページです。24 年度予算の金額を載せている中の主な事業をピックアップしており、公共施設の再配置というのが、市のかねてからの課題でございました。川西市においては、昭和 40 年代に住宅の宅地開発がなされ、人口が急増いたしました。そういった中で都市基盤整備、あるいは学校の建設、幼稚園の建設、駅前の整備等、もろもろの事業がその頃からなされたわけです。かつて川西の道路渋滞というのは、全国的に有名になりましたし、また建替え方式というのも非常に有名になったわけです。そのころ建設しました公共施設がいよいよ、どうするかと。建て替えるのか、もうすこし手を加えて延命を図るのかということも併せて議論する、という時期が来たということです。</p> <p>そういった中、ちょうど中央北地区の整備事業、これがいよいよ進捗してまいりました。土地区画整理事業という事業でしているのですが、ほぼ 22 ヘクタールございます。この中に、さまざまな公共施設があります。この 22 ヘクタールの中央北地区の整備事業を進捗するにあたって、いったんその施設を移転する必要がございまして。22 ヘクタールの中にある公共施設を別に新たに建てるのか、あるいは仮設とするのかというような議論の中、結論からいえばこの生涯学習センターにいったん入ってもらうということとなります。</p> <p>一つは、中央北地区の整備事業の考え方、進捗に合わせた動き、もう一つは公共施設の老朽化、耐震化、これをどうするのかという動き、三つ目といたしまして資産の有効活用、資料の絵の中の太文字で書いております、この 3 つの切り口です。駅前の再開発事業、特にアステ川西は平成元年 4 月にオープンしました。当時全国的にも珍しい大きな大規模な再開発事業で、住宅街区と商業街区を分けてつくった再開発事業で、市施工です。オープンして、本来でしたら市の役割はそれで終わりなんでしょうけど、市の玄関口を整備する将来の管理運営をきっちりするという目的を持った会社をそのとき設立しました。資本金 5 億円、川西市はそのうち 2 億出資しております。管理会社をつくってアステ川西を運営してきたわけですが、ご承知のとおり、こういったビルというのはオープンしたときから陳腐化がはじまります。</p>

あわせて、今の景気状況から、非常に空き床が多くなってきました。数々の小さなリニューアルはしてきておりますが、なかなか抜本的な対策は講じれていなかった、そして、空き床が随分とでてきております。空き床となると賃料収入が入らない、管理会社の経営が悪化するという構図になります。そこで、市から何回か資金の貸付、短期融資等してきたわけですが、空き床対策というのは、再開発事業の非常に大きな課題です。そういった中で、公共施設をアステ川西に入れた場合、公共施設が非常に利便性の高い場所にできるということと、アステ川西の管理会社の採算性、そういったものに寄与する、ここに書いていますように、資産の有効活用といった切り方でしているわけでございます、ただ、非常に課題もございまして。我々の立場、生涯学習センターを所管する立場だけで申しましたら、賃料の高い、ランニングコストのかかるところにあえていく必要もないかなという思いもございまして。ただ、先ほど申しましたように、中央北地区の整備、その他公共施設の老朽化、耐震化に伴う、そういった3つ合わせた施策の中で、やむを得ない措置と判断しました。

ただ、行くからには高い床をつかって生涯学習センターをつくるわけでございますから、やはり有効活用をしたい、単に生涯学習センターだけの利用ということではなく、もう少し広く市民の活用方法、利用方法をあわせてこれから考えていく必要があるだろうと。一つはやはり商業床です。生涯学習センターが運営していない時間はシャッターが下りているということでは、施設にご迷惑をかけますし、我々としても高いお金を払って、有効活用できてないということにもなります。今一度、市民の皆様が活動できるように考えていきたいと思っております。先ほどの、りんどう学園の卒業生などの活動場所も併せて生涯学習センターの中で出来ないかといった事もこれから考えていく必要があるんじゃないかと考えています。運営につきましては、24年度に我々教育委員会側と皆さんたちと、あるいは生涯学習センターの卒業生、そういった方々の意見を聞きながら進めていきたいと考えております。どのような形がいちばんいいのか、いろんな角度から議論させていただきたいと思っております。

また、生涯学習センターを移転しますが、アステ川西で、それだけの面積は取れるのかというお話になります。概ね、ここと同じぐらいの面積を確保できる予定でございます。この部屋と同じぐらいの部屋が2部屋、あと細かな会議が出来るような部屋、管理事務所的な部屋もあわせて作っていきたい。ただ、細かな部屋というのは、バックヤード、お客をあまり入れないような業務的な床を使っていきたい。店舗的な床、すなわち市民がたえず目にするような床の中では大きな部屋をつかっていこうかと考えております。いずれにしても、非常に複合的な要素の中で、いちばん先に公共施設の再配置をするのが生涯学習センターです。24年度中に検討して、アステの内装工事をして、25年の4月には移転できるスケジュールで進めればよいという思いを持っています。

そして、この建物には一時的にいま、中央北地区のなかにあるいろいろな公

共施設がはいります。そしてこの施設と、中央公民館・文化会館あわせて、中央北地区に、新たに建設する予定でございます。そして、ここと、中央公民館・文化会館は建物を解体して、その土地を売却します。資料の一番下に書いておりますが、全体的に50億かかる費用のうち、財産の売り払い収入で約15億、それと地方債といいまして、市の借金です。市が借金して、これを一時の負担をローンで、もっと言えば世代も分けて払っていくという費用が地方債という形になります。そういった形で計画しています。

ただ、これも議会に昨日示したばかりで、市議会、市民、生涯学習センターを含めた様々の関係者のご意見を聞きながら進めていかななくてはなりません。若干、流動的な要素もあろうかと思えます。

そういった課題ともうひとつ、他の公共施設におきましても様々な課題があります。たとえば公民館、社会教育施設の部分でいったら東谷公民館は耐震化工事のなかで、非常に数値が低い建物です。非常に危険性の高い、そういったものを放置している。また市営住宅でも耐震率の悪い、is値といいまして震度6強の地震が来て倒壊する可能性が高いというのがis値0.3未満、そして倒壊性する可能性があるというのが0.6未満です。いま小学校、中学校、学校施設については24年度までにすべて0.3未満は着手して完成させる方向です。学校施設で、基準は0.6未満ですけど、学校施設は0.7未満を対象として、これも27年度までにすべて完了する予定です。言い換えれば学校施設は27年度までに耐震化は100%になります。ただ、先ほど言いましたように、それ以外にもさまざまな施設で耐震化のデータが非常に悪い数値の施設があります。隣の文化会館、中央公民館もそうですし、もっといえば市営住宅など、ほんとうに日々生活している方々の建物をそのままにしておいていいのかというようなこともございます。ただ、そういったなかで今回、中央北地区の整備事業に合わせて生涯学習センターをとりあえず移すという計画です。市営住宅など24年度中にそういった見直しをきっちりするというところで動いております。

繰り返し申しますが、課題が色々と山積した中、整理しなくてはならない課題も随分ございます。そういった中で、いま、こういう計画で進めさせていただいていると。それと1週間ぐらい前に新聞報道がなされ、説明が後になってしまい誠に申し訳ございません。もちろん新聞報道は我々も出るとわかっていましたが、会議の設定と日程の設定、また市議会等の日程があり、今日の説明になりました。ご了承いただきたいと思えます。

それと木津川先生については、先般事務所にお伺いして今日の内容をすでに説明させていただいております。簡単ではございますが、生涯学習センターについてご意見賜ればと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長

それでは今、教育長のほうから生涯学習センターの移転というお話しが、意外に寝耳に水といった感じで飛び込んでまいりまして、この北地域の再開発のなかにここが入っているということですので、

教育長	ここは入っていないです。
委員長	入っていないんですか。
教育長	外れます。でも中央北地区にある公共施設の移転先となったということです。
委員長	ああ、そうなんですか。そのために、この生涯学習センターとか中央公民館あたりも取り壊してリニューアルという形になったのですか。
教育長	そのとおりです。
委員長	結構、大事業になりますし、しかも生涯学習センターは来年中ですか、移転という形になるのですね。まあ、アステの中に移転するというのが第一案であるようでございますけれども、それを耳にしましたとき、スペースがあるのかなという疑問がございました。どの程度の部屋数、それとスペースですね、もうひとついちばん気になりますのが、ああいった商業スペースのなかに入った場合、生涯学習センターとしての位置づけが、看板を含めて入口というのが皆さんにわかりやすい状態で設置していただけるのかと。たぶん南の方ですよ、あのあたり事務局がはいっている、あのスペースにはいるのですね。
教育長	アステの店舗の中に大きなスペースを確保する予定です。
委員長	店舗。
教育長	それと委員長が今、言われところに会議室と管理室、事務所的なところを取りたいと思います。いま具体的に言えないのですが、まだ、テナントさんが入っています。そこが退店する予定です。そのあとを活用して、広く使いたいと。
委員長	図書館と隣接する、というかたちになりますかね。
教育長	導線が難しいですけどね。
委員長	というお話だったんですが、委員の皆様、ご感想を、お聞かせいただけたらと思います。
運営委員	すごく下世話な話で恐縮なんですけど、ここに拠点があれば、駐車場が簡単に利用できますよね、無料で。アステに行った場合は、アステの地下の駐車場に入れたり、隣接の駐車場に入れたりしないといけないので、車を利用して、ここに来ている人にとったら出費になるなど、チラと思ったんです。ち

よっと知人にそのことを話したら「いずれ公民館も有料駐車場になるんとかちがう、そうしないと採算がおかしくなるから」と言ったんです。そのあたりは如何でしょう。

**教育長** 基本的には駅前という立地の良いところですから、公共の交通機関を使って来ていただきたいと。身体的にお体の悪い方でしたら、駐車場を利用させていただくと。その場合基本的に有料を考えます。ただ、講師の先生方等には配慮があると思いますけど。また、公共施設の駐車は有料化が必然的と考えます、そういった方向に動いています。現在、小中学校の先生方の車で学校に来られますけど、すでに有料化を図りました。駐車料金もいただくようになっています。ですから、必然的に公共施設の駐車料金は有料になってくるとお考えになって結構かと思えます。

**委員長** 私も文章教室というものを主宰しているんですけど、当初 20 年間ぐらいは中央公民館に活動の拠点を置いておりました。講師の先生は、河内長野とか非常に遠いところからお越しになられ、乗り物とか乗り継いでおられ、非常にご不便をおかけしておりました。2 年ほど前に図書館に移動しまして、ありがたいことに無料で貸していただいていますから、非常にいい条件で活動できています。それで、なおかつ、私ども会員自体が非常に高齢化してまいりまして、滝山で降りて、ここまで歩いて、中央公民館で、終わったらお食事をしますけど、即帰るとというのが割に大儀になってきておりました。図書館に代わりましてから足場がよくなりました。終わってからお買い物のお食事もでき、アステに結構貢献しているのじゃないかと。みなさん出てくるのが楽しいといわれます、というのがあるんですね。アステに、中央に行くとそういった付帯的なことが加算されて、まあ、楽しくなるかなという利点があるかなと思います。

**運営委員** こうした大きいプロジェクトというかこういう場は、ある程度任されたことだけを検討するんであって、市議会とかあります。今、お聞きしましても、一市民としてそれはやむを得ないと思います。再開発を動かすために、ものごとをやっていくという。先ほど、ちょっとおっしゃった、私はむしろここよりいいと感じます。図書館が隣接している、駅前、それで図書館とか学習する環境を集めたいというのが一つの流れということですから。希望なんですけど、カルチャーセンターがはいっておりますよね、あのフロアではないんでしょうか？

**教育長** 朝日カルチャーは 6 階です。事務所等の入っているバックスペースと中程の階のフロアを考えております。

**運営委員** そういうことも含めて、ここよりはむしろ利便性はいい、少し前進ということですね、どういうふうを活用していくかということですね。

教育長	そうですね、せっかく、いい場所で高い税金をかけるので、有効活用をさらに図っていきたいと考えます。
運営委員	やはり、家賃が高くなるということは、私たちがお借りする使用料も高くなりますか。
教育長	そこは、中央公民館もしばらくはありますので。貸館としての機能を持たせるかどうかひとつの議論です。生涯学習センターの看板、これは外しません。残します。 それと商業施設としての導線、入口からの看板、そういったものも設置していく考えであります。皆さんが行って迷うことのないよう、ハード的な部分はします。 ただ、ソフト的な課題があります。商業施設は営業時間が10時からです。そちらにここの開館、事業を合わすといった工夫が必要です。従来どおり9時半とか10時にスタートする、講師の先生の関係でそうせざるを得ないということであれば、ガードマンを配置してエレベーターを動かして、案内するといったことは可能です。ただそこまで経費をかけるのがいいのかどうか、今後いろいろ研究していきたいと思います。
委員長	基本的にアステは10時にならないとエレベーターは動きませんからね。
教育長	動かそうと思うとできるんです。ガードマンをたてて、それはできます。
委員長	10時とアステ全体で決められているのであれば、それに沿って私たちの方も動けばいいのだと。まあそういうことに変更するのにお金を使うのは無意味かと思えますよね。
教育長	そうですね。
委員長	体制的にはアステに移動するというのは、皆さんいかがでしょう。ご意見にもありましたが、利便性とかいろいろ考えて、図書館とか学習の場が非常に近い一つの輪の中に入るということは非常にやりやすいですね。利便性としては、抜群の条件だと思います。ただ、それに付随して細かいことでもずいぶん考えないといけないことが出てくるんじゃないかと思えます。
教育長	そうですね。
委員長	結構たいへんかなと思います。
教育長	この運営委員会の中でご意見をいただきたいのは、こういう形で市が移設します、生涯学習センターの、ここと向こうの違いのあり方、運営のあり方、

それと空いている時間の活用はどこまで許容範囲として、OKなのかということです。われわれとしては、空き時間というのはどんどん入れていきたい、他のグループでも入れて、という具合に考えていきたいと思います。

委員長            ということは、中央公民館なみに市民グループを受け付けるということですか。

教育長            そこは、もう少し議論が必要。何でも受け入れるのがいいのかどうか。

委員長            まあ、中央公民館にもありますよね、垣根は。誰でもお借りできないですよ、宗教がらみとか、そういうのは。

運営委員          そうですね、ここは複合施設でちょっと戸惑われるのですが、公民館利用はいわゆるコミュニティとか自治会、それから登録グループ、いわゆる社会教育関係団体が使えるということで、それ以外については文化会館で使うということで、窓口が分かれています。若干営利的なことでもできるのが文化会館ということで、それ以外は社会教育的なものが公民館で扱う、料金も若干設定が異なります、それと申込と制度も異なります、そういう状況です。

委員長            文化会館と公民館が同じ窓口にあるっていうのは結構、効率悪いですね。いつも中央公民館で「文化会館の扱いですから文化会館の方お願いします」と感じて。あれも考える余地あります。

教育長            今の課題は二つあります。駅前のアステに行ったら非常に使い勝手よくなって、いろんな方々から貸してくださいという話が出てこようかと思います。それをむやみやたらに全部貸すということは避けた方がよい、どんな使い方をされるのかということも、我々もちょっと懸念しますから。ですから一定の登録グループにするのか、あるいは社会教育法並の網をかぶせていくのか。当然網をかぶせなくてはいけません、一定の制限をしたいと思います。その反面、どんどん使っていただきたい。非常に相矛盾するところがありますが、要はシャッターを下ろしているのが一番悪い、どんどん使っていただきたい。

もう一つ、運営するにあたっては、生涯学習センターだけの事務局だけでいいのか、もうすこし包含した社会教育的な全体を見れる事務局を設置して、その中に生涯学習センターの担当と他の担当に分けるとか、そういった事務局サイド、管理サイドについては、我々は検討していきます。どういった使い方がいいのか、今の中央公民館のグループの方も使っていくのであれば、中央公民館所管の部分と生涯学習センター所管の部分が、一緒の場所で運営した方が効率的かもわかりませんし、そのあたりをちょっと研究していきます。

委員長	今のお話について何かご意見はありますか。
運営委員	学生の立場から言えば、便利だと思います。 運営委員がおっしゃったように、図書館はあるし、環境的にはここよりはるかにいいですね。それと、学生のパーティーと申しますか、懇親会という場合でも足場はいいし、まあ願ったり叶ったりじゃないでしょうか。
運営委員	そうですね、これ中央北地区整備にともなって生涯学習センター移転は、アステのほうに移転するという事は、議会でも決まった。
教育長	これは今言ったところですから
運営委員	すごくいいと思うんです。能勢口の、アステの中にあると利便性もいいし、いろんな方が来られると思うし利便的にすごくいいと思うんですけどね。平成元年にオープンして空き床が増えてるから、ちょうどその場所に生涯学習センターを持ってくると、今まで入ってた店舗の収入とか、そういうのが減ってくるんじゃないかと。それ以上に、収益が上げれたらいいんですけど。他も空いているから、文化施設的なものをどんどんと。それはすごくいい事なんですけれども、その反面、商業施設のほうが、だんだん衰退していく。中心市街地を活性化させようと思いながらオープンしたアステ川西、それがどんどん衰退していったんじゃないかなって懸念もあるんですね。
教育長	まず、あの再開発ビルというのは商業ビルなんです。普通のマンションと一緒に、再開発事業でしています。ということは今の業務床を商業床に変えるには管理組合か、なにかの議決がいると思います。また、さらに空き床が出た場合、それを店舗床から業務床に変えていく、それはアステ側の話であって、向こうがそれを良とすればそういうことも考えていきますが、ただ市として、さらなる投資、税金の投入というのは難しい、これが限界かと思えます。また、店舗が入っておれば収入があって市がはいると収入がないというのではなく、市が入っても賃料はその借りた分はアステ側に入ります。市に入るのではありません。では、なぜ高い賃料払うのか、そういう必要があるのかというと、再開発ビルを市施工でつくった時の理念と、もう一つは玄関口としてあのビルがつぶれたらどうするという懸念から公金を投入ということです。また、公金の投入の事例としては、パルティ川西に第一期で作ったいちばん北側のビルの中に空き床ができて、教育情報センターが入っています。市がお金を払って、この仕組みと一緒に。資産の有効活用といいながら、市が出資した管理会社、2億出資した管理会社が経営が悪ければ、さらにそこに市が支援する、その支援を現金とするか、床を取得して賃料で払うか、どちらかを選ぶというスキームです。その中で、単なる税金の投入だけでなく市民にもっと還元して、中央北地区の整備事業の進捗に合わせてこのように考えたと理解していただきたい。

運営委員	<p>そうですね、すごく理解しているんですね。能勢口だったら環境もいいし図書館もあるし、大賛成なんですけど、ただ、川西を愛する市民としたら、どんどん商業施設が衰退していく、今、結構空き床があります、それと、ジャスコもなくなったし、というふうになっていると今、全国的にどこも仕方がないことと思います。</p>
教育長	<p>施設として空き床のままで店舗の床で残してシャッターがしまったままでいいのか、あるいは公共施設が入ってそこに人が流れたほうがいいのか、中心市街地の方からも判断が必要かと思います。</p>
運営委員	<p>そうですね。</p>
委員長	<p>最初のアステオープンの際に、4階5階は、図書館として使用しておりますよね、そのときに、最初の計画の中に文化施設、たとえば将来的にはこの文化会館とかこういう生涯学習センターとかそういうのがひとつの建物の中に図書館もあり、階をわかれて1階フロアは生涯学習センター、2階3階は図書館、で上にホールを持つ。そうした一つの建物のなかにこういうふうに入ってしまうのが一番良かったんだろうと思うんですよ。今となれば、なんか店舗が空いて、アステの方もお客さんが少なくなって具合が悪い、シャッター下ろしとくのも悪いから、それじゃあ市のほうが生涯学習センター移転しましょうかというのは、すごく安易な、もうひとつ理念的な、きちっとしたものがないように思えて、割に生涯学習センターを軽く考えられてんのかなという感じがしなくもないんですよ。</p>
教育長	<p>そうではなくて、やはり、平成元年にオープンしたときの経済というのが背景にひとつあります。それともうひとつ、公共施設の整備で再開発ビルを作ったのではない。駅周辺での住宅密集地、非常に環境の悪い住宅をどうするかということでかなりの地権者、300名ぐらいの地権者がおり、その地権者の了解のもとにビルを建て、その中に住宅を選ばれる人もおれば店舗を選ばれる人もおられた、店舗を選んだ部分がアステ川西で、住宅が栄南団地11棟のマンション、あれも一緒に再開発です。再開発ビルの中で、当時は信じられないような店舗の申込みがあり、賃料も今よりはるかに高い賃料でした。経済がこんな状態になると誰も思っていない状況のなかで作ったから、一概にその時そうしておけばというのは、難しい判断です。</p>
委員長	<p>それはよくわかります。いちばん懸念されるのは、さきほど教育長がおっしゃったように、今回移転するにあたって、賃料を管理会社に払うわけですね。高い賃料払うとなってくると生涯学習センターの中で、いくばくかの利益をあげていかないと、今この財政困難の中で川西市が、やっぱり生涯学習センターの中でもわずかでも、お金を稼ぐような、そういう風な、当然要求として出てくると思うんですよ。そうした場合、垣根がどんどん崩れて、いろ</p>

んな申し込みを、全部枠をとっぱらうではないですが、沢山の方の申込みを受けたいとおっしゃいました、ということは、それだけ下手をすると企業施設と朝日カルチャーセンターと変わらないような商業ベースに陥ることが出てこないとも限らない。だからそのへんが、境界線というのをきちっとつけておかななくてはならない。

教育長 その垣根は必要だと思います。そのために生涯学習センター運営委員会は存続すべきだと思います。

委員長 境界線はきちっと作っておかないと。どんどん、受け入れるばかりだと生涯学習センターそのものが。

教育長 ただ施設の有効活用といいながら、そこで利益をあげようとはあまり考えていない。むしろ、市民に有効に使っていただきたい。今まで活動する場所がなかった分、市民がそこで活動していただきたい。生涯学習センターの卒業生とか、りんどう学園の卒業生がもっと地域に貢献して自分たちの活動場所を探している中で、そういった発表の場であっていいし、活動の場であっていいし、そういったことを発表していただいて、そこに、どんどん人が流れていったら好ましい。

委員長 でも、OB会のその問題は、地域に帰って、地域で大和自治会、緑台自治会、湯山台、たくさん地域ありますよね、川西に。その中で、活動なさっていいわけですよ。

教育長 本当は、それが一番いい。

委員長 そうあるべきと思います。

教育長 それが今なかなか難しい、出来てない。だから、その課題があります。

委員長 そういうことも、きちり打ち出していないと。何もかも、生涯学習センターは便利に無料で使っていただくなんて、これから成り立たないと思うんですけどね。

教育長 ただ、行ってその有効活用ともう一点、さきほども言われた中心市街地の活性化ということを考えた場合、人の流れをたくさん取りたいという商業グループとしての目的があるんです。その目的を損なわないといいますが、シャッターが下りておるような状態は好ましくない、やはり。

委員長 他にもご意見をお聞かせいただけますか。

運営委員	若干聞きたいことあるんですけど、もし、このままでアステに行くとなると具体的にどのくらいシャッターの時間ができるのかと。シャッターを下ろしている時間がどのくらいあるのか、想像がつかないけども、このままで移転した場合、実際どのくらいできるのでしょうか。
事務局	事業のメインがレフネックになります。レフネックは4学科で年間20講座で80回、全部土曜日に行っていますので、土曜日が5月から12月初めまでおおむね使っています。それ以外にオープン講座が11回くらい、それは平日に行っています。今言っているのがどれも90分授業です。あとは課外講座と生きがい学習塾をしています。本事業でいくとそれがメインになってしまいます。あとは貸館で使っています。
運営委員	ということは、たとえば1日10時から開いたとして、6時7時くらいまでですか。
事務局	土曜日でしたら午前午後とも90分ずつしますから10時から11時半が講義、2時から3時半までが講義。
運営委員	3時半以降がシャッターになるということですか、平日ですと。
事務局	そういうことです。平日は大半がうちの事業としてはシャッターを下げている状態です。
運営委員	土曜日は午前ワンポイントと午後ワンポイント以外は全部。
事務局	事業としては閉まっていることになります。
運営委員	ということは殆どシャッターということとなりますね。
事務局	はい。
委員長	でも、グループの活動がはいつてきますから。
事務局	そうですね。
運営委員	それは、結構あるんですか。
運営委員	登録グループは今どのくらい。
事務局	はい、登録グループは68件で、登録人数は1,900人ほどです。

運営委員 平日だと、ほぼ埋まってしまおうんですか。

事務局 日稼働でいきますと90%ほどになりますが、使用区分帯の稼働になりますと、もっと落ちます。今は時間区分での使用になります。

教育長 時間区分でいくとどのくらいになるのか。

事務局 2割くらいです。

運営委員 たとえば木曜日だとしますと、なにか入っているんですか、たとえば今日。

事務局 こちらの会議室、軽運動室も午前中は使っていただいています。

運営委員 昼からは。

事務局 昼からも1グループはいています。

運営委員 そこそこ埋まるのですか。

事務局 厳密にいうと1区分50分です、1日にすると朝9時から夜9時までの区分がありますから、そのうち使っている1区分ずつ積み上げるとトータルで2割くらいだったと思います。

委員長 夜の区分は殆ど空いていますから。6時以降が。

運営委員 ということは8割ほど空いてるということですか、平日は。土曜日は午前1回午後1回授業があったとして平日は。

教育長 部屋によっても違います。ですから、このような大きな部屋であれば土曜日だけとか。ただむこうに行っても、大きい部屋だけをどう使うのか、細かい小グループの部屋をどう使うのか、いろいろ課題が出てきます。

運営委員 今ある事業以外のことをかなりしないと埋まらないんですね。

教育長 はい、埋まらないと思います。

運営委員 それがけっこうなウェイトを占めるのですね。

教育長 そうですね。

運営委員 それともう一点、ここは日・月曜日がお休みですが、アステですとどうなり

ますか。

事務局 日・月曜日、祝日とお休みですが、貸館はしています。

運営委員 そうですか。僕が気になったのは、日曜がお休みですとせっかくアステは日曜日、人なんか多いのに閉館されるのかと思ったのですが、それはないんですね。

事務局 はい、閉館するのは年末年始、それと清掃の日です。

運営委員 日曜日ですと、誰か借り手があるだろうと、そういう想定ですね。たぶん日曜日の方が多いいと思います。

教育長 ただ我々も、具体的にどういう活動でどんな時間帯でどんな部屋のスペースで埋めていくというところまで、まだちょっと詰めてないです。

運営委員 どのくらい空き時間があるのか、想像がつかなかったもので、ちょっと聞いてみようかと、それくらいはあるんですね。

教育長 はい。

運営委員 ということは、けっこう他のことをしないと 100%埋まりませんね。

教育長 ただ、営業時間としたらここは 9 時から 9 時となっていますが、アステは 8 時までですかね、ですから 10 時 8 時になる、やっぱり、むこうの管理形態にある程度合わさないと、経費がさらに高くなります。

運営委員 ということは、10 時間くらい。

教育長 そうですね。

委員長 それと生涯学習センターということで市の管理下にあるわけですから、市の行事がまた入ってくるということもありますよね。

教育長 あります。

委員長 ですから 100 パーセント埋めてしまうってのはいかないですよ。常に 80 パーセントくらいですか、最大限。やはり 2~30 パーセントは空きをつくっておかないと。

教育長 それと 6 階にアステホールがあります。この活用もあわせて考えていく必要

	あると思います。あれは市はまだ買いません、借りませんけど。管理会社の持ち物です。
委員長	でも、高いですよ、賃料。
教育長	そこは、やはり今回、こういう公共施設を投入するんですから、会社側と市側と協議する必要あると思います。一定の料金についても。
運営委員	それで、川西市は貸会議室が少ない、コンパスで借りるとけっこう賃料が高い、今度、この生涯学習センターを貸会議室でするとしたら、同じような感じで使用料を取ると、高いから会議室借りたいんだけど手が出ないというような。
教育長	コンパスの費用より安くする、これはなかなか難しいと思う。ただ面積的なものでコンパスよりも面積を小さくして費用を安くするとかそういった工夫は可能と思います。
運営委員	コンパスは高いんですよね。そして、調べた事があるんですけども、シャンテですか、みつなかのところの上の貸会議室があるんですが、あそこはかなり安いと聞きました。そういう事からすると、かたや安かったら、じゃあ高い値段出してアステじゃなくても、あっちまで足伸ばしてもいいわ、ってことになると、またその会議室も埋まらない。
教育長	その辺の話は我々も協議して決めていかなくちゃならないという話です。移設後の運営をどうするのかっていう話です。
運営委員	可能性はどの程度、もちろん都市開発の了承の話は。
教育長	おおかた話したうえで発表しています。我々もマスコミにも発表し、議会にもこれを出している限り、もう公表です。公表した限り実現に向かってめざすということです。
委員長	他の運営委員さんのご意見をお聞かせください。
運営委員	私はよくわからないですけど、たとえばアステができたときにこういうこと聞いたんですね。たとえば、図書館とパチンコが同じところにあるというのは非常に問題があると。 理想論からすれば商業施設と文教施設は当然分けるべきと思う、環境的には。たとえばこの生涯学習センターが移設する、その最初のスタートというのは床が空いているところをどう活用するのかという部分だと思うんです。私たち、僕も教育現場でよく思うんですけど、すべて何が最優先で決まるかとい

うと経済性です。能率、便利さ、経済性。話は全然違いますけど、もうすこし私たちは、ただ便利である、経済性がある、効率性が高いというだけで決めるものから考え方をちょっとかえていかないと。便利じゃないものが悪いのか、効率の悪いものが悪いのか、たとえば教育の現場でも、お金をこれだけつけたらどれだけ結果が出るのかという部分で、現場として非常に感じる部分があるという気がします。結果を出しなさい、効率のあるものをと。確かに財政の部分でいくとそこがいちばんのスタートだと思うんですけどね、だからそういう点で生涯学習センターも移転するわけですけども、生涯学習センターというものが私としてはああいう商業施設の中にあるよりも、もっと閑静な部分にあった方が、図書館が近いといった便利さがあるかもしれないけど、まずその移転が何でスタートしたかという部分があります。

委員長 その点ですが、アステに入るのが、利便性の面においては 100 パーセントいいと思います。ただ今おっしゃったように商業施設の中に本当に文化施設のようなものが、本当に混同されて境界線がなくなってしまうような、こういうありかたはどうかって感じはあります。将来の川西の最初の設計において、つくっておくべきだと思うんですよ。再開発というのが、多分あとになって出てきたので止むを得ずにとということと思うんですけど、その辺の配慮が一番望みたいところですよ。

運営委員 都市開発のほうの仕事を、主人がしてたので、都市開発としたら、この話すごく有効で、すごくうれしい話、待ってた話やと思うんですね。今も議論しているようにこういう場をたくさん持ってもらって、こっちの要望を聞き入れてもらった段階で実行していただきたいというのが本音です。

委員長 皆さんの意見を聞きます。ただ、川西都市開発と皆さんのグループと直接話が行われるのは難しいと思います。

運営委員 こちらの意見を向こうに持って行っていただく。

教育長 我々が判断して相手方と話をする形になります。

委員長 こういう運営委員会を、この議論のための運営委員会を開いていただければいいかと思います。来年中に移転するということですよ。

教育長 25年の4月ぐらいにオープンしたいと。

委員長 オープンしたいという話ですから来年少なくとも2度ぐらいは、また皆さん寄って、お話しの方を持たせていただくといいと思いますね。

運営委員 24年度に私たちの意見を聞いてもらって25年度に向かっていけたらいいな

と思います。

教育長 ここに至るまで、部長が関係部長とずいぶんと議論をしてこういう案が出て、我々市長と最終これで行こうと決めたんですけど、部長のレベルの段階で様々な議論をやったことは事実です。いろんな意見も出ています。すべて申し上げることはできませんけど。その結果、最終的にこういう判断をしたということでご理解いただきたいと思います。

委員長 これから懸念されるのは、生涯学習センターのあちらに移った場合、貸室の賃料とか時間とか、活動にあたっての1時間の借り賃がいくらになるのか、そのへんの額が今までと同じペースで抑えられるとは思いません。そのへんはやっぱり市民の方のご理解いただける範囲での賃料ということが必要となってくると思うんです。活動にあたって、そのあたり、私たち運営委員会にかけていただけるのでしょうか。

教育長 皆様のご意見はお聞きしますが、最終的には公の施設の設置になりますので、公共施設の設置及び管理に関する条例にかかわりますので、議会の議決をもらって、そして賃料についても議会の承認がいる、そこの議論も出てきます。

運営委員 いまお話ししているのは、要は現状のまま移転といいますが、ソフト面というか。いま出た、いわゆる枝葉の問題は入ってから再度議論していくということの理解でいいでしょう。

教育長 そうです。移設するまでに議論すべきことと移設してからのちに議論することと両方あると思います。

委員長 でも、あたまに入れておかないと、一番肝心なことが抜けてしまうことありますから。それは市民側の要望ってのは大きいと思いますので、移転その大前提だけ決めるのじゃなくてある程度またそのことも、ある程度あたまに入れて議論していかないと。

教育長 移転する方向というのは間違いのないから、それはおっしゃるとおりですが。ただ細かいところまで決められるかといえ、なかなかそういかないこともあるかと思いますが。少なくとも今言いましたように、貸館の賃料とかそういったことはオープンするまでに決めていきます。

委員長 大きな問題ですね、それは。他、ご意見ございませんか。

運営委員 本題と外れますが、文化会館の青写真などは。

教育長	複合施設には入ります、中身はこれからです。資料右側の図でわかりますように、文化会館、中央公民館というのは22ヘクタールのなかに入れる予定です。
運営委員	文化会館の大ホールとかは。
教育長	設計とかは、まだ何も出来ていません。生涯学習センターもこれぐらいの部屋がとれるだろうと言っていますが、具体的な設計図などまだ何もできていませんので。
運営委員	その話し合いの中に専門家の方とかはいりますよね、設計していく上で、もちろん。
教育長	どういうことでしょうか。設計図をかく段階で誰に頼むかという話ですか。
運営委員	ではなく、生涯学習センターの話と外れますけども、文化会館の大ホールは1,000人です、みつなかは500人で、もうひとつ小さいホールが欲しいと、ちょっと思っているんですけども、そういう意見とかも組み込んでいただけるのかなと。
教育長	組み込んでいくというよりも、そこはこれから議論される話です。
運営委員	設計していく上で、文化財団のかたが入るとか、話し合っ、文化会館の建て直しをされるんですよね。
教育長	もちろん、そういうことです。
運営委員	偏った意見だけじゃないということ、いろんな業界の方の意見を聞かれながら造っていかれるということ。
教育長	ちょっと見てもらいたい。資料の(2) 文化ホール公民館福祉施設を包含した複合施設を中央北地区に建設し、と書いておりますけど、そういう形でこれから考えていくと、その時期的に、の時期は28,9年の予定です。
運営委員	はい、知っていますけど、そこに専門家の意見が入っていくのかどうか。入れてほしいなと思っているんですけど。
教育長	施設のあり方の検討のなかでは当然、そういうのも入ってくると思いますけど。
運営委員	期待しています。

教育長	これは行政側が縦割りというと怒られますけど、市長事務局、教育委員会とはずれます。
委員長	体制的に皆さんのご意見としては、アステの方に移転するということはいいいことじゃないか、賛成と理解して良いということですね。細部にわたってこれから検討していただくことが多いかと思うんですけど、事務局のあり方も変わってくるんじゃないかと思えますね。 それとレフネックというものの存在価値というのを、もっと大きく知らせていただかないと。生涯学習センターのメインはレフネックしかないですからね。もうひとつ商業施設に移るのであれば、レフネックともう一つ核となるものを用意することが必要かもしれない、そのあたり検討の材料となるのではないのでしょうか。
運営委員	りんどう学園もいっしょにはいりますか。
教育長	りんどう学園も活動場所として使ってほしいなという思いはあります。ただ生涯学習センターの看板は、やっぱり、はずせないですし、レフネックという看板ははずされません。
委員長	あやふやになってしまわないように。
運営委員	純粋な意味で生涯学習というところを冠しておいたほうがよいと思います。いろんな勉強をする会でも運動体育的な団体もありますし、混在すると、こういう施設は分けるのも一考。
委員長	そのへんの区分けというのも、きちっと存在価値というものを出しておかないと。川西は高齢化社会になっていますからね、特に。
教育長	そうですね。それと毎年厳しい倍率になっていますので、この際わずかでも定員を増やせたらと思っています。
運営委員	授業料は上がりますか。
教育長	そこまでまだ何も考えていません。
委員長	でもね、定員増やすのはどうですか。70人というのは適切ですか。
運営委員	昔は45名、いわゆるクラスとして、まとまりは良かったです。70名でクラスのまとまりは、いまいちですが、「また落ちた」とかそういう方が大勢いらっしゃるんで、1人でも2人でも増やした方が。

教育長 1学科5名だけでも増やせないかという思いを持っているのですが。

委員長 それかもう2クラスつくることですね。

教育長 となると、今度は講師の先生の調整が。

委員長 45名ずつ2クラス。

教育長 ま、夢はふくらんできますね。

委員長 そうでしたら、今日のところは議論、このあたりでよろしいでしょうか。

## (2) その他

委員長 それでは次の議論、その他説明をお願いします。

事務局 来年度の入学案内を3月1日から市の広報にも掲載させていただいて、公民館、市役所、図書館等で置かせていただいて募集させていただきます。募集期間は3月30日までの約1か月間で募集させていただきますのでPR方よろしく願いいたします。

運営委員 今までに応募して抽選にはずれ入学できなかった人を対象として20人の優先枠とあります。もし20人を超えた場合は。

事務局 抽選の方法をこの前も審議していただいたのですが、20人を超えられた方はまず、対象の方だけで20人を抽選します。そこで外れた方は、一般枠のなかに入れてもう一度抽選する、ということで優遇されているということです。ちなみに、昨年26人の応募があって、そこでは先に20人を選んで、残り6人をもう一度、一般枠の中で抽選して4の方が当選されております。

運営委員 私の知り合いの方が、このあいだ修了式に来られていて「私4回目なんです」と言っておられたんです。そんな方がおられて落選しておられるかたがいらっしゃるので。

事務局 仕方ないですね。

委員長 あきらめていただかないと。

事務局 抽選は公開でやっています。毎年委員長、副委員長立会いの下で。

運営委員 感想ですが、この講座の枠組みです。私は大学にいますので、講師と話す機会があります。大学の先生というのは講演に呼ばれる、でもそれは単発なんです。しかし、ここに講師として呼ばれて講義をして、「このシステムは非常にしっかりしている」とあらためて言われるんですよ。本当に。一つの枠組み、私が参画させてもらって感じたのは、入学式、修了式があって、市長、教育長が来られて、非常にきっちりされている。一つの例ですけど、名前を呼ばれて相応の年齢の人が、ぴしゃっと起立、本当の学校という形を維持されていることが私自身ショックでした。ここに来られる先生方は、頼まれた、そうですか、ほな、来ましょか、ということで来られるんですが。あの、事務局大変かもしれませんが、コーディネーターされた先生何名かでも、修了式だけでも参加していただき、見てもらったらいいと思うんです。感動するんですよ、「そんなにしっかりしたところやったら、また行こうか」ということにつながっていく。コーディネーターという先生は苦労されていますから、来たら、自分がお世話したことがこういうふうに通った先生が喜んで・ ・ ・と感じるんじゃないかなと感じたものですから。言う事務局大変やから控えていたんですけども、本当の意味で窓口されている人がどの大学にも必ずおられる、ま、来る来ないは別の話です、いっぱい修了式ありますから、教育長らと同席していただいて、ちょっとこの時間を過ごしませんかと。「ほんまにすごいことをやっているんだ」ということは言われるんじゃないか、それが次につながるんじゃないか。いろんなコーディネーター探すのは大変やと思うんです。ですから、コーディネーターの先生とつながっとく方が絶対強い、これは必要かなと思います。

委員長 招待状みたいなのはお出しになっているんですか。

事務局 入学式、修了式というのは出していません。小論文はかかわっていただいた先生には全部お送りさせていただいています。

運営委員 無理にとはいませんが、そうしたら僕はむしろ、立派なことをされてますんで感動されるのではと思います。

委員長 来ていただくのが無理であれば、その、文を添えて「こういうのをしました」とお礼状など、お出しになっているんでしょう。私たちが来ていただいたら箔がついて、いいお話しですよ。このあいだの研究発表も、ご立派な研究発表なさっておられて感動したんですけど、一つクレームを初めておっしゃいましたよね、あの男性、文学科のかた。今まで、その、クレームがついたのは一つもなかったんですけど。私もあの方の論文をちらっと読ませていただいて、クレームって程じゃなかったんですけど。近松門左衛門が入ってなかったという、近代、神戸、京都題材で西鶴があるのになぜ近松は入っていないと。それはそのとおりと私も思ってカリキュラムをちょっと出して見て、あの年の文学、おかしなのがちょっと入ってるのね。源氏物語、古文が続い

ているなかに一つ、あの京都の夏目漱石となんかが1回だけ入ってて急に近代になったのね、だからなるほどなど。だからこれがここに入るんじゃないな、と思っちゃって。運営委員会にかけていただいた時は、私たちはもう本当に時間がなかったから気がつかなかったんですけど。ああいったクレーム言っていたらと、なるほどなって、もう一度考えてみましたけど。あの、出来上がったカリキュラムに関しては、一度検討なさっているのですか。

**事務局** 来年私どものほうで、「来年度こういう学科を考えている」とその提示をさせていただいて、コーディネートしていただいた先生から私共に提示していただきます。受けた内容に沿いまして、流れはどうなのか、これでいいのか、先生方と協議し、受け持っていていただく先生の日程等鑑みながら、させていただいておりますが、やはり1年先のことですので、今回も急ぎよ12月ぐらいに、いろいろ先生方も学会などの役員をされている関係で流れから少し飛び出たところに日程の調整をせざるをえないという事もあるんですけど一応、事務局としては、一連の流れに沿ったものかどうかということでご意見を言わせていただきながら先生もコーディネートしていただいているといった状況です。

**委員長** そうですか。

**運営委員** オープン講座っていうのは、どのように決まるんですか。毎年アトランダムに違うテーマでされるんですか。

**事務局** そのときの話題性のあるものとかをピックアップさせてもらって3回なり4回で編成させてもらっています。

**運営委員** 第1回的时候に、委員長方から「介護とかそういった講座」とおっしゃって、僕は単発的でできるんじゃないかといった記憶があります。オープン講座で、一応私の友達が阪大の准教授をしております、口から食べることにに関して非常に熱心にやっておるんですね。話もおもしろいもんですから、箕面なんかで市民講座に出てましたし、もし、声掛けしてもらえたら、面白いはなしをするやつなんで、きいていても飽きんと思います。健康寿命を伸ばすってことを書いてあって、ふと思ったんですけど。ご存じのように「口から食べる」ってことは大事だと、いま盛んに言われています。川西は高齢化率が高いので介護されている方、施設に入っておられる方も多いですが、そういう方にも何かヒントになるんじゃないかって思います。もし、そういうお考えがあるのであれば、声掛けしていただいたら、私のほうで段取りします。

**事務局** ありがとうございます。

この4月から学科編成に対する委員さんの意見をいただいて今後進めていきたいと思っておりますので、新しいのも考えておいていただいてご発言いただければ

ばと思います。

委員長 ありがとうございます。何かほかに。では、これで終わらせていただきます。

閉会 11時30分